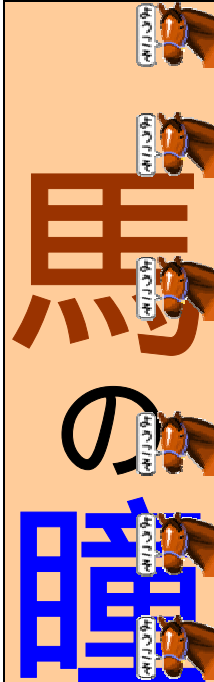


馬の瞳六刊 伊藤 大介 挨拶

今回『馬の瞳』第6刊の挨拶を任せて頂いた伊藤大介です。早いもので僕がこの空港乗馬倶楽部でインストラクターをやらせていただいて一年が経ちます。この一年間は色々ありましたカナキャンとか……と！！思い出に浸っているのはココまでにして！！

これからをどう過ごすかを“ひたすら前向きに…少し後ろ向き”に考えていきましょうとゆうことで皆さん『クリスマス会』に是非ご参加下さい！！

…とゆうことで今月も『馬の瞳(第6号)』が始まります。



馬の紹介コーナー vol.6

サントフェルテ



サントフェルテ 騎馬 サラブレッド 平成2年4月2日生まれ
父スズカコバン 母サクラセイコー 競走戦績30戦2勝(JRA) 総賞金52,975,000円
通称サント 彼が我がA.R.C空港乗馬倶楽部に来たのは平成13年3月の春の事でした。サントは倶楽部に来る前は山梨県の“馬事振興センター”でお世話になっており『公務員暮らし』をしていたとの事。サントは振興センターで行われた“セリ”により会長が購入し倶楽部にやって来ました。来た当初彼は子供達やまだ馬に慣れていない会員さん達が乗るほどとても大人しく、前号の“サンダー”と争う程の人気者でした。しかし振興センターで公務員生活をしてきたせいか夕方になり辺りが暗くなってくると馬場に出たがらず入口の前で「イヤダ！イヤダ！！」をしていたそうです…最近ではすっかりセンターの生活から離れ夕方でも馬場に出れるようになりました。ところが時間が経つにつれ合図が間違っているとゆう理由(?)で尻っぱね(後肢を蹴り上げ飛び跳ねる)をし乗った人達を恐れ目に遭わせるとゆう馬になってしまいました。ところが最近また少しだけ大人しく今は慣れたお客さんに乗ってもらっています。そんな彼ですがどうぞ可愛がってやって下さい！少し耳を伏せていても「来て！来て！！」とゆうサインです…多分。



キララ大人への階段

皆様に日々可愛がって頂いているキララですが、早6ヶ月を過ぎ彼女も大人になってまいりました。そこで、避妊手術を受けさせようと思えます。つきましては、カンパをして頂ければ幸いです、小額で結構なので、ご協力お願いします。

第六号
H17.11.15

馬具のお話 vol.6

グローブ

手のひらには滑りにくく通気性の良いグローブ
防水性に優れ手綱をしっかりと握るならこの一品は必須です。
軍手に慣れてしまった方も一度御利用になってみては如何でしょうか？
より楽しい乗馬を楽しめますよ
数も色も沢山あります。自分に合ったの物を探してみるのも面白いと思います。
詳しくはスタッフまでどうぞ

グローブ 1500～8000円
カラー 各社によって多種多様 サイズ XS S M L



今月の大会

2005年 国民体育大会

2005年10月23～27日にかけて岡山にて国民体育大会が開催されました。A.R.C空港乗馬倶楽部より木村勇也君とフォーシーズン号が出場し激戦を繰り広げてきました。結果は見事少年ダービー競技にてチャット号で優勝をしました。結果は以下の通りです。

少年ダービー競技

木村 勇也	チャット	優勝
-------	------	----

少年団体競技

木村 勇也	フォーシーズン	4位
-------	---------	----



A.R.Cホースショー

11月6日ここA.R.C空港乗馬倶楽部にてA.R.Cホースショーが開催されました。参加された会員皆様、ならび見学してくださった皆様方大変お疲れ様でした。招かれざる大雨に屈しない力強い乗馬とたぎる魂を体現して頂きました。パーベキューも楽しんで頂けたと思います。
インストラクター & 金城学院馬術部による
コラボレーションダンスは如何だったでしょうか？
今後も同一イベントを企画中なので一緒に踊りたい会員さんは是非申請を…
次回も余興を数多く準備してお待ちしておりますので是非御参加ください



ウィンターキャンプ開催

今この時が熱い時季！集え少年少女達！！
 寒さなんて吹き飛ばせ！難しい事は言わない。ただひたすらにハジケよう！
 子供は風の子元気な子、コタツは後だ！ミカンも後だ！！今この瞬間が青春だ！！
 ……という訳で冬の乗馬合宿開催します 奮って御参加ください。
 乗馬は乗るだけに非ず、視野を広め共に学ぼう。詳細はスタッフまで



クリスマス会

乗馬をさらに上達する秘訣…それは『共有できる仲間』
 情報を交換し友情を重ね『馬友達』をつくりましょう
 今年最後の親睦会、美味しい食事に楽しい会話、この機会を是非御利用下さい。
 12月17日(土)PM7:00～9:00ポンテベッキオにてより多くの友人を作りましょう
 参加される方はスタッフまでお願いします。
 スタッフも何か密かに出し物が…有るかも？無いかも？それは来てのお楽しみ…



競技会告知

第38回東海ホースショー

11月25～27日愛知県森林公園にて第38回東海ホースショーが開催されます。
 競技会に興味の有る方、自分の実力を試してみたい方ふるってご参加下さい。
 競技内容、参加希望される場合はスタッフまでお願いします。



全日本学生選手権

12月3～4日馬事公苑にて全日本学生選手権が開催されます。
 数多くの猛者の中から高田康司君と福山祥子さんが
 見事出場権を獲得し更なる激戦に身を投じます。
 皆様、応援お願いします。

全日本学生選手権大会
 関東地区選抜 高田康司君出場(日本大学)
 全日本学生女子選手権大会
 中部地区選抜 福山祥子出場(金城大学)



スタッフそれぞれ記事

高田大介コラム「旅人」

今回は「北風と太陽」の話をします。



北風と太陽は旅人のコートを脱がせようと北風は力の限り、ビュービューと強風をあびせると、旅人はコートを剥ぎ取られまいと襟元に手をかざし、向かい風に飛ばされぬように進んでいきます。太陽は優しく春の日差しで旅人を包むと、旅人は「あぁ暖かいな。コート無しでも大丈夫」と自分からコートを脱ぐお話です。乗馬クラブの仕事は、乗馬の爽快感と動物と接している事で癒される和やかな時間です。乗馬クラブのスタッフ求められるのは、スポーツクラブですから「元気」と「笑顔」と「親切」と「凛とした「乗馬の先生気質」が必要です。ハンドルやブレーキやクラッチに遊びが必要なのと同じで、人にも「遊び」が必要です。乗馬という「遊び」で、「疲れた心」「つまらない心」「屈折した心」を少しでも和ませる事や「元気」をお分けするすることの出来る。太陽の優しい春の日差しで、旅人を包めるスタッフ作りをしたいと思います。

高田葉子コラム「全日本学生三大大会「最高に楽しかった」

先日11月2～6日、東京の馬事公苑にて「全日本学生三大大会」が開催されました。この大会は全国の大学馬術部員が各地区予選を通過して大集結する大学馬術部の年に1度の学校の名誉をかけた大会です。今まで日本大学代表として大会出場をしている息子を一度も見ただけだったので今年こそ観に行こうと主人と2人で11月2日の障害の1回走行の日に馬事公苑まで観戦に行きました。空は秋晴れで馬事公苑の緑がとても綺麗でした。若さではじけんばかりに輝いている馬術部員達が学校と自分達の為に気合を入れて頑張っている姿は眩しく感じられました。私は二男康司の姿を探しました、幸いすぐ近くの日本大学チームの中に見つける事が出来ました。本人は先に両親の姿を確認していたようで主人が声を掛けると、恥ずかしそうに「みつかった！」と言う顔をして照れていました。この大会は学校対抗という事で各大学がそれぞれお揃いのチームジャンパーに身を包み、自分達のチームメイトに黄色い声援を送っていました、その様子は年に1回の大きな目標に焦点を合わせた狩人のようにも見え、熱意が伝わってきました。参加選手は全国から集まった精鋭揃いで、レベルはプロ顔負けの学生達が入賞2割位、素晴らしい技術の走行で、この大会に出場できる事は素敵な事だと深く感じました。結果は100/16位と今ひとつの成績でしたので、今年こそはと意気込んでいた息子はとても残念そうな顔をしていたのが心残りです。また、来年も頑張ってください。今回の競技観戦は私の人生の中でもとても心に残る観戦となりました。大きな組織の中に身を置き日々頑張っている学生達、又、自分の息子を見てまだまだ日本も捨てたものではないな・・・と嬉しくなりました。ちょっと大きくなった息子の後姿が今も目に焼きついています。それともう一つ、私たち夫婦は新婚旅行以来、夫婦2人だけで新幹線に乗ったことが無かった事に気付き、これもまた新しい人生のスタートかな・・・と感慨深いものがありました。



「僕の親父」 星野龍之介

小学校4年生位の時、スーパーファミコンが流行った。父に買ってくれと頼んだら、めちゃくちゃ怒られた。「お前は、俺と海に行ったりして自然で遊ぶより、ゲームをして遊びたいというのか？二度と釣りやダイビングに連れて行かなくていいなら、買ってやる。」極端すぎるだろと子供ながらに心の中で思った。3時間ほど説教され、結局買ってもらえず怒られ損だった。頑固者の父に小さい頃から厳しくしつけられた。

「となりのトトロ」がテレビで初めて放映されると学校で話題になった頃、僕の家にはテレビがなかった。小学校3、4年までテレビが家になかったのだ。なんで家にはテレビがないの？トトロが見たいと喚いていたら、テレビを見るとテレビに汚染されると長々と説教された。当日、僕は母に頭を撫でられながら、一生懸命ラジオを聞いていた。

よくレストランなどで騒ぐ子供を見ると、思い出す事がある。母が、「そういうことをすると、あんたは小さい子をそこまで怒らなくてもいい位見ている可哀相なほど怒られていた」と言う。幼稚園くらいの時、東京に行った。電車に乗ったとき、初めて乗る乗り物に心がはしゃぎ、いすの上で跳ねたりしていた。祖母の家に着いたとき、お前は入らなくていいと言われ、外にずっと立たされていた。沖縄から出てきて、とても寒く外でぶるぶる震えていた。みかねた祖母がこっそりと家に入れてくれた。体が冷えていたので、風呂に入りなさいと湯船に浸かっていると、父が入ってきて濡れたまま丸裸の僕を外に出そうとした。母と祖母が、必死に止め、祖父が「もういいだろ」と声を掛けてくれたので凍死せずすんだ。それから、それまでも大人しい方ではあったが、公共の場で下手に騒いではいけないと学習した。

父は、天皇家が嫌いである。過去の戦争の事が原因である。小学校低学年の頃、学校で君が代を歌い、歌詞の意味も分からず、家で歌った事がある。次の瞬間、外に放り出され戦争に行つてこいと言われた。しばらく、家の前に突っ立っていると、早く行けといわれ、それでもそのまましていると、石を投げられた。ただ、意味も分からず「君が代」を歌った結果であった。

小学生の頃、釣りに行ったとき、今まで見た事もない魚が釣れた。その日は、まだ何も釣れていなかったで、とても嬉しく針はずそうとした。足で魚を踏もうとした瞬間、魚が跳ね、僕のくるぶしあたりに鋭い痛みがあった。それから、すごいしびれが僕を襲った。その魚はアイゴという魚で毒をもった魚であった。みていた父は、よってきて「その魚は毒があるよ」と言った。見てたなら先に言えと思ったが痛みが治まった後でその事を話したら、知らないお前が悪いと言われた。

その夏の僕の自由研究は、魚の毒についてであった。ちなみに、アイゴに刺されると、成人でも失神する事もある。

社会人になり、学生の時にやっていたラグビーをまたはじめた。ある日、試合で鎖骨を陥没骨折した。医者に手術をした方がいいとい：未成年の僕は親を連れてこなければならなかった。父に来てもらい、医師に話を聞いた後、父が言った。

「麻酔無しでやって下さい」横に居た僕は口が開いたまま閉じなかった。先生の反対により、なんとか麻酔をかけてもらえたが、危機一髪こんな、頑固者の自分の偏見を押し付けてくる親父に僕は育てられた。

懐かしい思い出話である。今ではこんな父に育てて貰い僕は良かったと思っている。

岸野豊のマイソロジー「続々々々きっしの愛犬 今月のサクラさん」

朝晩だいぶ冷えるようになって馬も人も厚く着込むようになりました。馬は暑いよりは快適ですけど犬もきつそうみたいです。うちの犬さくらが生まれておよそ半年が経ちました。もうじきさくらにとって初めての冬になります。我が家に来た頃に比べたら何倍にも大きくなり力も強くなってたくましくなったので厳しい冬も乗り切れるとおもいます。来たときに買ったケージにはさくらの部屋には置いてはありますが入ることはしないで、遊ぶ道具の一つになってしまい大きさもう入るのが厳しくなってきました。しかもまだもう少し大き

なりそうです。
最近だんだん散歩に行くのが寒くて億劫になってきました。がんばって公園に連れて行き遊ぶときボールを投げて取ってきて受け取るはずなのですがなかなかボールを返してくれなくなってしまいました。捕まえて強奪しないと取り戻せないようになってしまいました。最初はある程度すんなり渡してくれてたような気がするのですが…月に2回くらいお風呂に入れるのですがお風呂に入るのが嫌いなのは相変わらずでお風呂に入ると毎回僕に爪の引っかいた痕が残ります。痛いです…

小島貴志のインナースペース「王蟲(オウム)のボヤキ」

ども、ここA.R.Cでインストラクターをしている小島です。こないだうちの(?)『キララ』がとうとうねずみを銜えておりました! さっそく誉めてあげようかと近づいたとたん自分とは反対方向にダッシュ!!そして再び参上!!コノコハイッタイナニガシタインダロウ?と思えばしばらく観察していると…シロのところへ行きしばらく固まった?…と思ったら銜えたまま器用に「にゃ〜」と一鳴き。またどこかへ走って行き帰ってきませんでした。おそらくどこかで食したのでしょう。なんとびっくりシロちゃんに見せようとしていたのです!!?本当かどうかは別として、まあ面白いじゃありませんか。猫同士のごみゆにけーしょんってやつでしょう。なかなか上手くやってるんだ、と思ったのはその日だけ、次の日にはキララがシロに向かって爪をたてシロが牙を向き威嚇して追い返す…と、繰り返していました。(泣)しかし、普段いくら可愛くてもやっぱり肉食動物ですね。ねずみを銜えているときの眼光の鋭い事鋭い事…カッコいいです。話がおもいきり変わりますが、ようやく秋らしい陽気になってきたのにハエは相変わらずです。蛆殺しからハエ捕り線香、ハエ捕り紙、はたまた新兵器のハエが中に入ってくれなくなるという不思議な袋まで用意しているのにその勢力は衰えるどころか広がっているのでは?!と思ってしまう。一説にはキララがカエルを食べているからだ!なんてのもありますがあんまり関係ないですよ? (汗)いたいいつになったらおとなしくなるのでしょうか?誰か良い方法ないですか?あったらぜひ教えてください。

さてさて、先月号では抜けてしまった『今月の名言』じつはなかなか思いつかず悩んでいたのです。がしかし!ついに思いつき打ち込んだのですが…夢でした。素で…。それで先月号には載せられなかったのが今ここで書きます、すみません。先月号に載せたかった言葉は『困った魚は目を見りゃわかる』でした。相もかわらず訳がわからなくて申し訳ありませんが解る人には解るかもしれないかも知れないです。(どっちゃやねん!)ちなみに、これらの言葉達は今までの自分の人生で気に入った言葉達です。自分のオリジナルではありません。何かの台詞だったり、何かの歌詞だったり、何かの受け売りだったり…と様々です。皆さんの心に残り自分なりの解釈をして何か伝わってくれたら幸いです。

今月の名言……『七つ対面親の負け』

伊藤大介の中部屋「俺はこうして巡って来た。Vol10」

秋も深まり、日が落ちると途端に寒くなりスタッフが風邪ひき放題な今日この頃ですが皆さんどうお過ごしですか?

僕は見事に風邪をひいてしまい喉をやられています…皆さんは大丈夫ですか?

体が資本ですから風邪をひかないよう気を付けてください。さて、そろそろ本題へ。

今回は研修仲間の『白井君』について話したいと思います。白井君は前期組で入った僕より3歳年下の男の子でした。

白井君はエノ君や僕と仲が良く、特にエノ君といつも一緒に行動をしていました。

いつものようにご飯を食べに行ったエノ君と白井君、僕が寮でノリさんとF-1話を華を咲かせていた時そこへエノ君一人が帰宅しました…アレ?何か可笑しいよね?

と思いエノ君に聞くと『腹が立ったから置いてきた』と一言。

どうやら食事先で喧嘩をしたらしくどこか遠くに置いてきたらしいのです…その数十分後、白井君が顔をクシャクシャにし泣きながら帰宅しました。どうやら白井君は置いていかれた先で道に迷い迷走していたらしいのです。

その後お互いのグチを聞きながら僕とノリさんは就寝。

ところが夜が開け朝陽が昇り皆が起き牧場に向かう頃二人は何もなかったかの様に仲良く出掛けていきました…

僕とノリさんの立場は何だったとゆう感じでした。まあ仲が良いとゆう事なんでしょうか?…次回は僕と白井君の事について書きたいと思います。



宗像義明の小言「上底 + 下底 × 奴(小島) ÷ 我(オレ)」

ん?…あれ?何故かな?酷く狭い気がする。世間体における身の振り方が悪かったからか?はたまた日々の行いが悪かったからか?小島君に黙って奴のポッキー食ったからか?どちらにしる肩身が狭いと感じてしまう。

いつもならここで数多くの武勇伝を語り自己満足に浸る予定だがいつもの三分の一…これは俗に言う「芸が身の仇」って奴でしょうか?いや違うか?しかし「束縛条件」という奴もあります。一定の悪条件ならそれを利用しないでもない。しからばここでひとつ!!

J D C 八拾八式 七拾五式改 四百式拾七式・轢鉄(B) 百拾四式・荒咬み 百式拾八式・九傷 (SC)裏百八式・大蛇薙(MAX) 成功すれば計13HIT…しかし上記一文「いったい何の話だ?」と言いたい方も居られると思います。

僕も一から説明すると半日ほどかかってしまうので省かせていただきます。もし判る人が居るなら僕に言って下さい。

ジュース一本位は奢りますから、ちなみに僕と同様に小島君も『かなり』詳しいです。同じ穴のムジナという奴です、ある種共通の趣味?それとも自分の探求による影響かも。ちなみに彼の場合

J C(めくり) C リグレットバッシュ ジェットカウンター アッパーデュエル ジェットカウンター スティル(AC) ファイナルインパクト ゲージ消費は激しく入力も簡単ながら見栄えダメージ共に結構鬼です。

で、やっぱり目押しコンボとワンフレームディレイを駆使すれば更なる戦略が…何?もう時間が無い?それは至極残念…

もう少し詳しく書きたいのですがそろそろお開きの時間がやってきました。それでは皆様また来月お会いしましょう